

**令和2年度JST情報サービス利用者の満足度調査  
( J-STAGE閲覧者向け)**

# ■ 目次

- 2頁 ■ 目次
- 3頁 ■ 調査概要
- 4頁 ■ 回答者プロフィール

## 【詳細編】

- 6頁 ■ J-STAGE 利用頻度
- 7頁 ■ 利用端末
- 8頁 ■ J-STAGE 役立ち度
- 9頁 ■ 役に立った（立ちそうな）理由
- 10頁 ■ 役に立っていない（立ちそうにない）理由
- 11頁 ■ J-STAGE よく使う・便利だと思う機能
- 12頁 ■ My J-STAGE 登録有無
- 13頁 ■ My J-STAGE よく使う、便利だと思う機能
- 14頁 ■ コロナ禍以降、J-STAGE利用頻度の変化
- 15頁 ■ 普段利用しているサービス
- 16頁 ■ J-STAGE 以外で利用しているJST情報サービス
- 17頁 ■ 論文の二次利用経験有無
- 18頁 ■ 論文の二次利用目的
- 19頁 ■ 論文の二次利用許諾取得のための手続き内容
- 20頁 ■ 役立ちそうな新サービス
- 21頁 ■ データポジトリ開設の認知利用実態
- 22頁 ■ データポジトリ開設後の利用用途・意向
- 23頁 ■ プレプリントの閲覧状況
- 24頁 ■ プレプリントの閲覧理由
- 25頁 ■ プレプリントの非閲覧理由
- 26頁 ■ プレプリントサーバへの論文投稿経験
- 27頁 ■ プレプリントサーバへの論文投稿理由
- 28頁 ■ プレプリントサーバへの論文非投稿理由
- 29頁 ■ 日本国内の機関でプレプリントサーバが設置された場合の利用意向
- 30頁 ■ 日本国内でのプレプリントサーバ利用目的
- 31頁 ■ 日本国内でのプレプリントサーバに求める機能
- 32頁 ■ よく利用しているプレプリントサーバ

## ■ 調査概要

### 調査目的

国立研究開発法人科学技術振興機構が提供する主要な情報サービスについて、各サービスの利用状況、認知度、利用シーンや類似サービスとの比較・選択状況を明らかにするための調査を実施し、結果を事業企画に活用する。

### 対象者条件

J-STAGEサイトトップページ訪問者  
My J-STAGEアカウントのDM受取者

### サンプル数

9,288件

### 調査手法

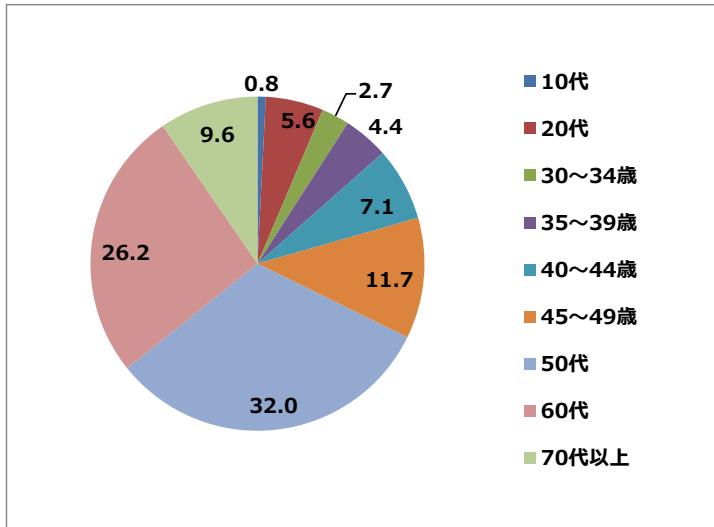
インターネット調査

### 調査期間

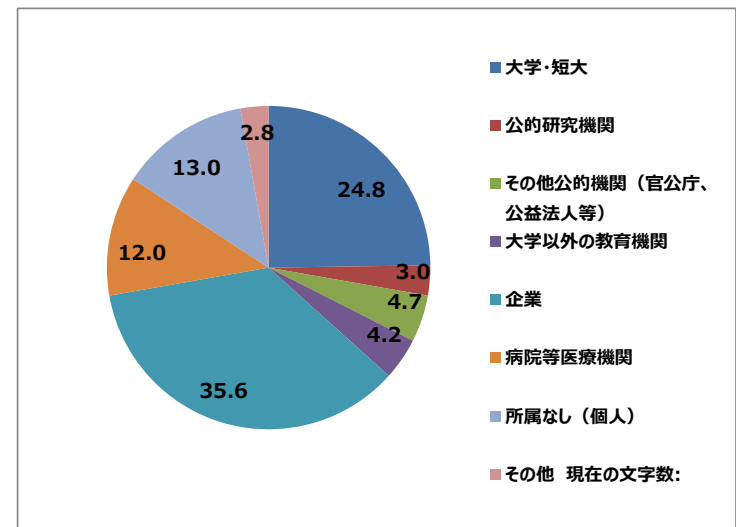
2021年1月7日（木）～2021年2月5日（金）

# ■ 回答者プロフィール

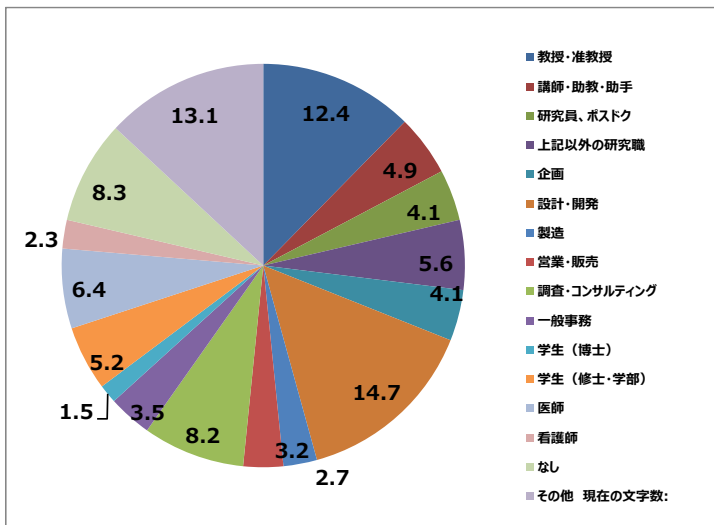
年齢 N=9288



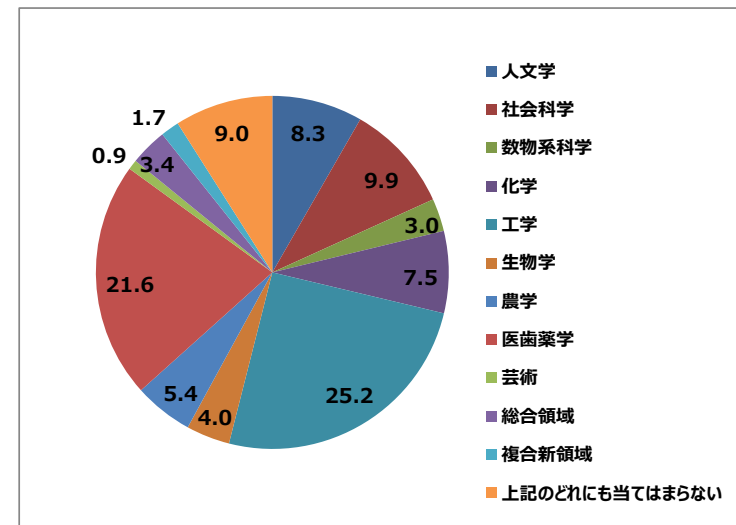
所属 N=9288



職種 N=9288



専門分野 N=9288





## 詳細編

---

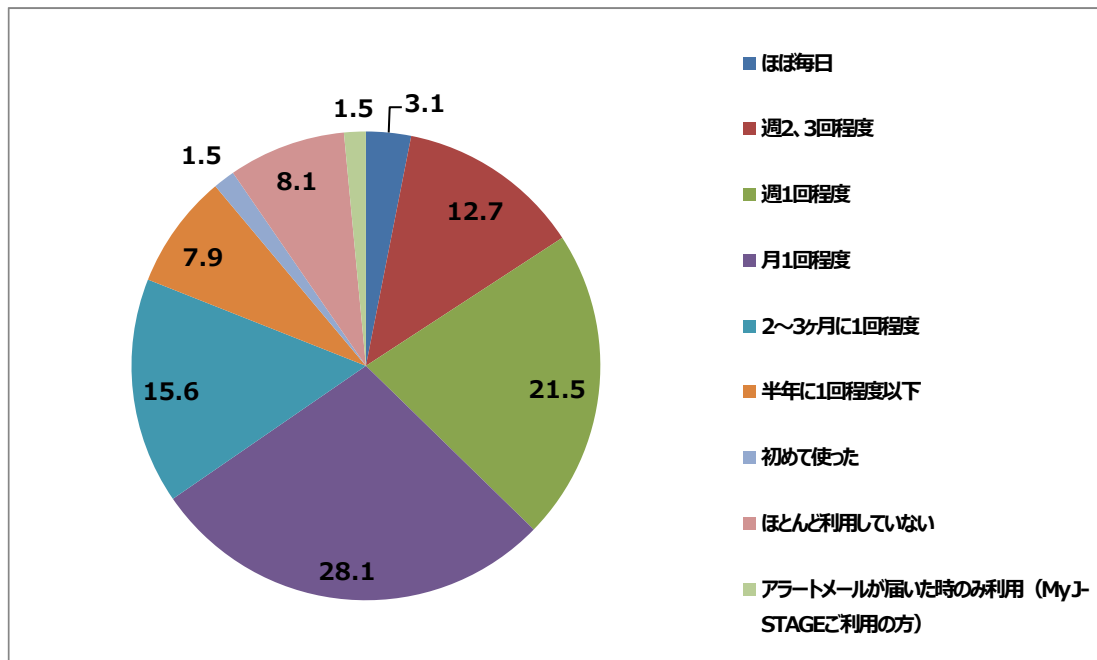
# ■ J-STAGE 利用頻度

質問1. J-STAGEをどれくらいの頻度で利用していますか。(1つ選択)

- J-STAGEの利用頻度は、「月1回程度」が28.1%と最も高く、次いで「週1回程度」の21.5%、「2～3ヶ月に1回程度」の15.6%の順が続いている。

N=9288

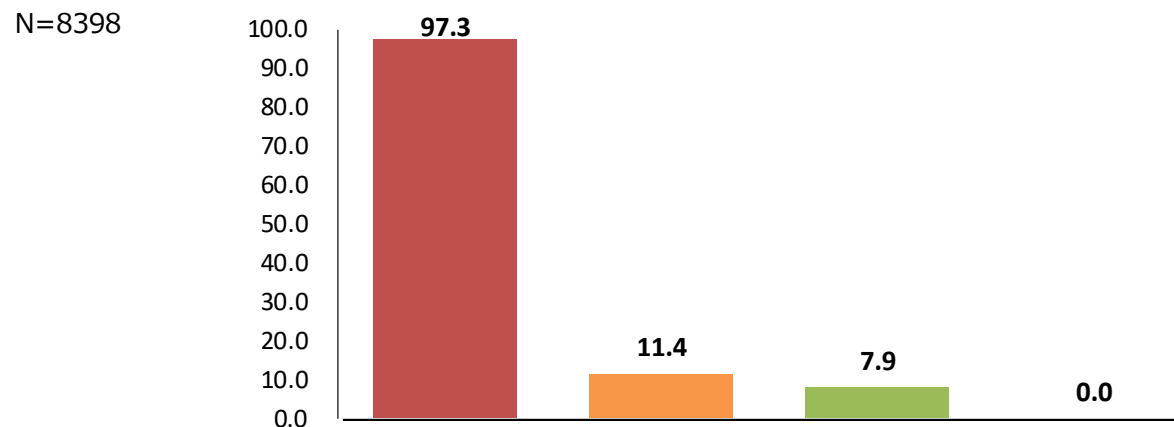
単位：%



# ■ 利用端末

質問2. 普段J-STAGEの閲覧に使用する端末を教えてください。(複数選択可)

- J-STAGEの利用(閲覧)デバイスは、「PC」が97.3%と圧倒的に高く、次いで「スマートフォン」の11.4%、「タブレット」の7.9%と続いている。



n=30以上で  
■ 項目内で1位  
■ 項目内で2位  
■ 項目内で3位

	N	PC	スマートフォン	タブレット	その他
全体	8398	97.3	11.4	7.9	0.0

※全体値を降順に並び替え

※単位：%

# ■ J-STAGE 役立ち度

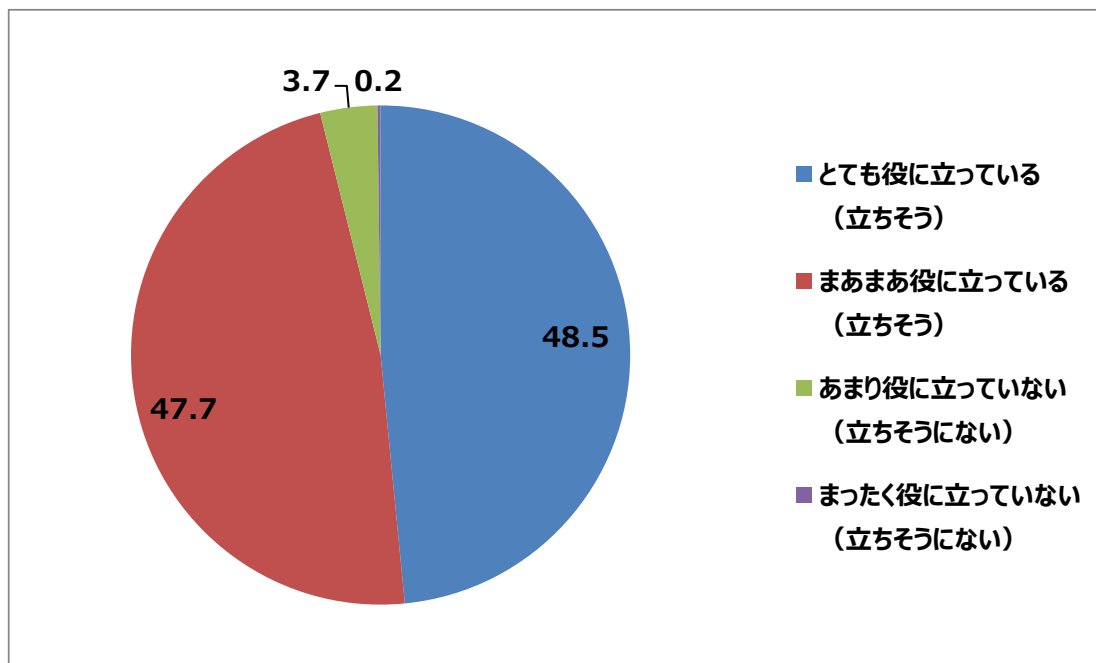
質問3. J-STAGEは役に立っていますか。または、役に立ちそうですか。(1つ選択)

- J-STAGEの役立ち度は、「とても役に立った(立ちそう)」が48.5%と最も高かった。役に立ったというポジティブな回答は、96.2%を占め、大多数が満足した様子が伺える。

役に立っている 計	96.2
役に立っていない 計	3.9

N=8398

単位：%





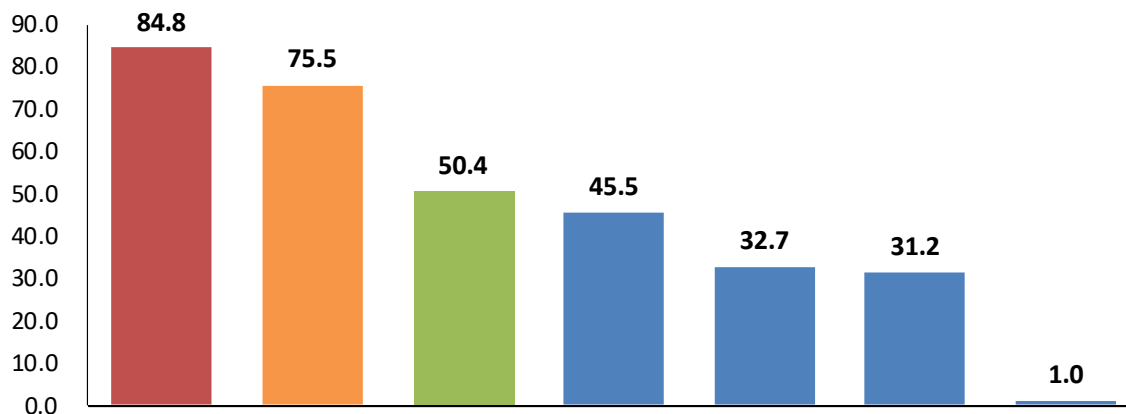
# ■役に立った（立ちそうな）理由

質問4. 役に立っている（立ちそうな）理由として当てはまるものをお選びください。（複数選択可）

- 役に立っている（立ちそうな）理由は、「無料で利用できる」が84.8%と最も高く、次いで「学術情報として信頼できる」の75.5%、「公的機関のサービスであり信頼できる」の50.4%の順が続いている。

J-STAGE「役に立った（立ちそう）」回答者

N=8073



n=30以上で

- 項目内で1位
- 項目内で2位
- 項目内で3位

	N	無料で利用できる	学術情報として信頼できる	公的機関のサービスであり信頼できる	情報収集の効率化に役立つ	情報量が多い	必要な情報が見つかる	その他
全体	8073	84.8	75.5	50.4	45.5	32.7	31.2	1.0

※全体値を降順に並び替え

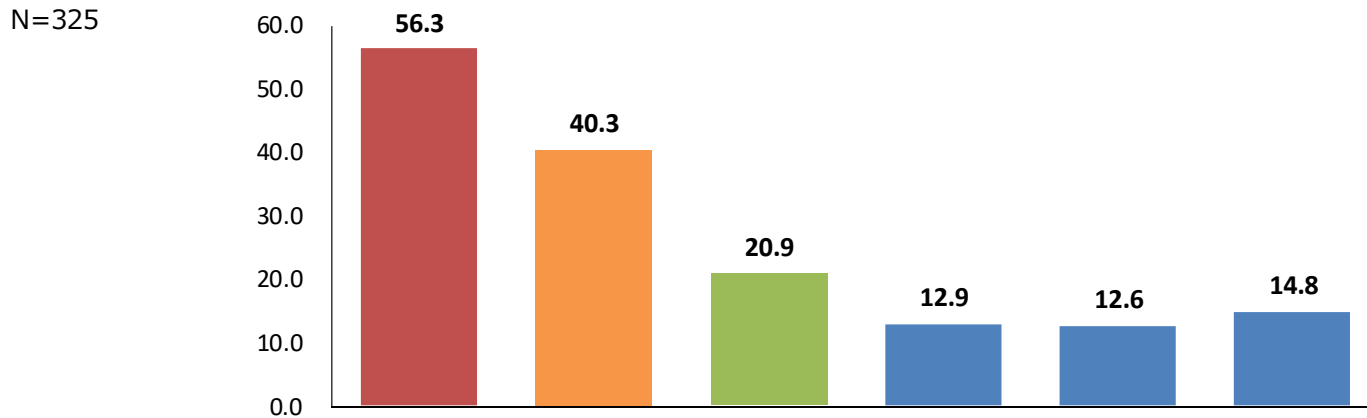
※単位：%

# ■役に立っていない（立ちそうにない）理由

質問5. 役に立っていない（立ちそうにない）理由として当てはまるものをお選びください。（複数選択可）

- 役に立っていない（立ちそうにない）理由は、「必要な情報が見つからなかった」が56.3%と最も高く、次いで、「無料で利用できないものがある」の40.3%、「情報量が少ない」の20.9%の順に続いている。

J-STAGE「役に立たなかった（立ちそうにない）」回答者



N	必要な情報が見つからなかった	無料で利用できないものがある	情報量が少ない	情報が新鮮でない	検索精度が遅い、検索速度が低い	その他	
全体	325	56.3	40.3	20.9	12.9	12.6	14.8

n=30以上で  
■ 項目内で1位  
■ 項目内で2位  
■ 項目内で3位

※全体値を降順に並び替え

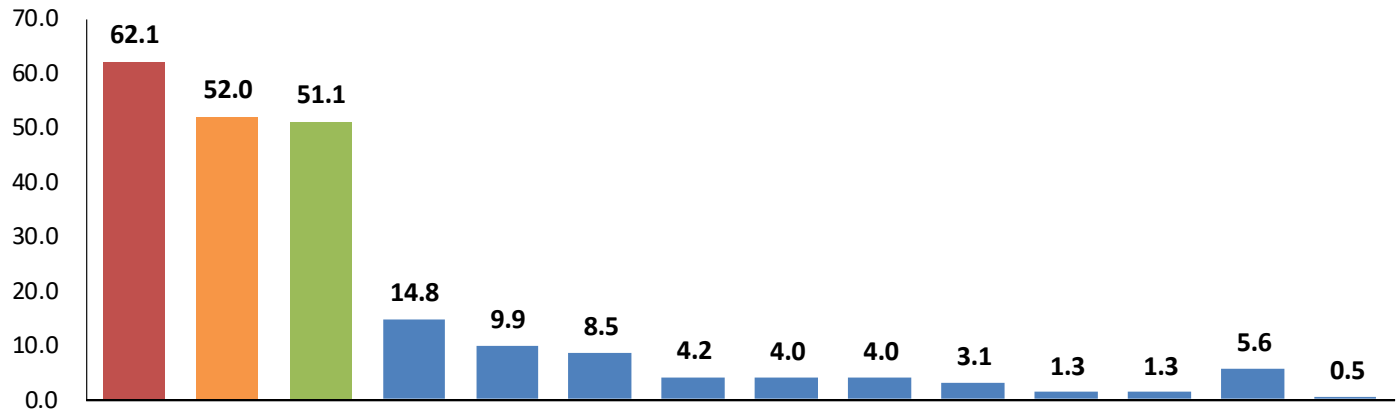
※単位：%

# ■ J-STAGE よく使う・便利だと思う機能

質問6. J-STAGEでよく使う機能、便利だと思う機能をお選びください。（複数選択可）

- J-STAGEでよく使う機能、便利だと思う機能は、「文献情報のダウンロード機能」が62.1%と最も高く、次いで「引用文献リンク」の52.0%、「詳細検索機能（論文記事の検索）」の51.1%の順に続いている。

N=8398



n=30以上で

- 項目内で1位
- 項目内で2位
- 項目内で3位

	N	文献情報のダウンロード機能	引用文献リンク	詳細検索機能（論文記事の検索）	My J-STAGEへログイン機能、ブックマーク機能、閲覧履歴表示等	ジャーナル紹介文	最新号記事表示	おすすめ記事表示	アクセスランキング表示	閲覧履歴表示	「Mendeley」の連携	SNS連携機能	編集委員紹介	特になし	その他
全体	8398	62.1	52.0	51.1	14.8	9.9	8.5	4.2	4.0	4.0	3.1	1.3	1.3	5.6	0.5

※全体値を降順に並び替え

※単位：%

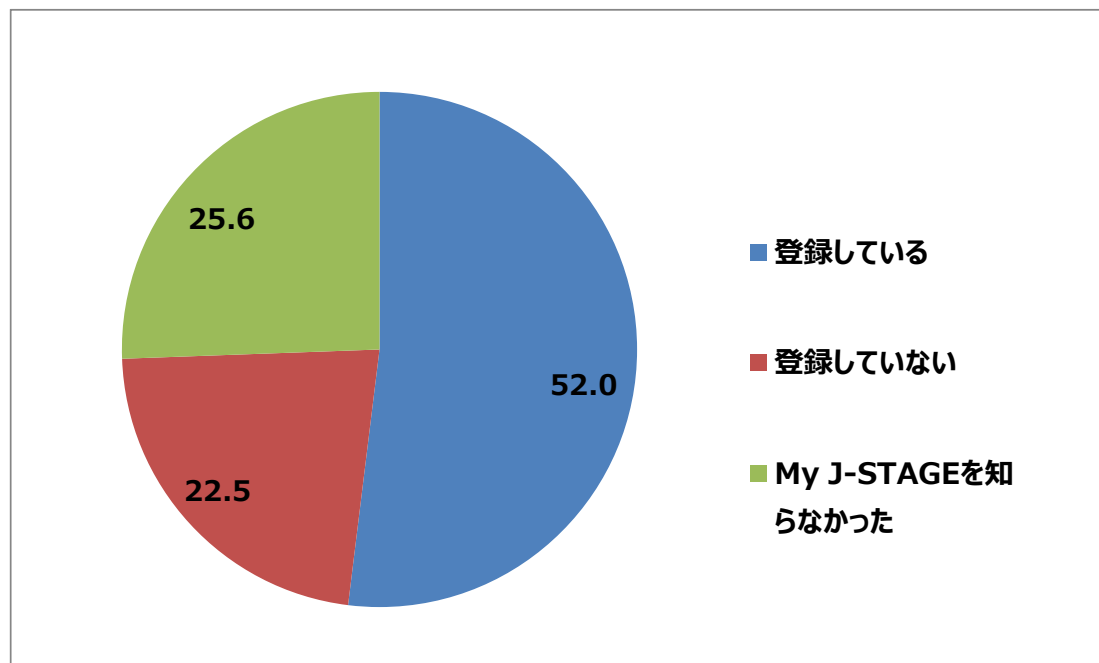
## ■ My J-STAGE 登録有無

質問7. My J-STAGE\*に登録していますか。(1つ選択)

- My J-STAGEの登録状況は、「登録している」が52.0%と約半数であった。また、「知らなかった」という回答は25.6%となっており、My J-STAGEの認知者は、74.5%であった。

N=8398

単位：%



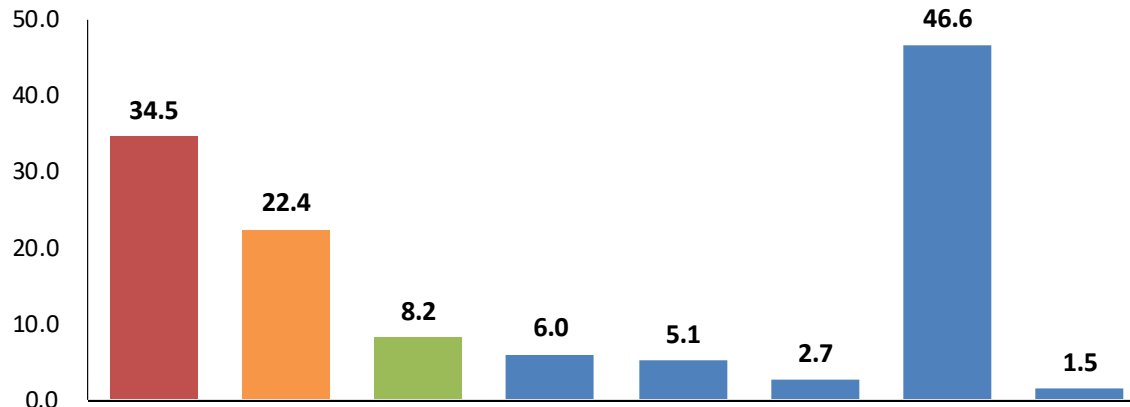
# ■ My J-STAGE よく使う、便利だと思う機能

質問8. My J-STAGEでよく使う機能、便利だと思う機能をお選びください。（複数選択可）

- My J-STAGEでよく使う機能、便利だと思う機能は、「お気に入り検索条件の登録」が34.5%と最も高く、次いで「お気に入り資料のお知らせ／新着アラート」の22.4%、「購読者番号とMy J-STAGE IDのリンク」の8.2%の順が続いている。一方で、46.6%は「特になし」と回答している。

My J-STAGE登録者

N=4365



n=30以上で  
■ 項目内で1位  
■ 項目内で2位  
■ 項目内で3位

	N	お気に入り検索条件の登録	お気に入り資料のお知らせ／新着アラート	I J 購読者番号とMy J-STAGE IDのリンク	お気に入り記事の引用アラート	お気に入り情報アラート	お気に入り記事の認証解除アラート	特になし	その他
全体	4365	34.5	22.4	8.2	6.0	5.1	2.7	46.6	1.5

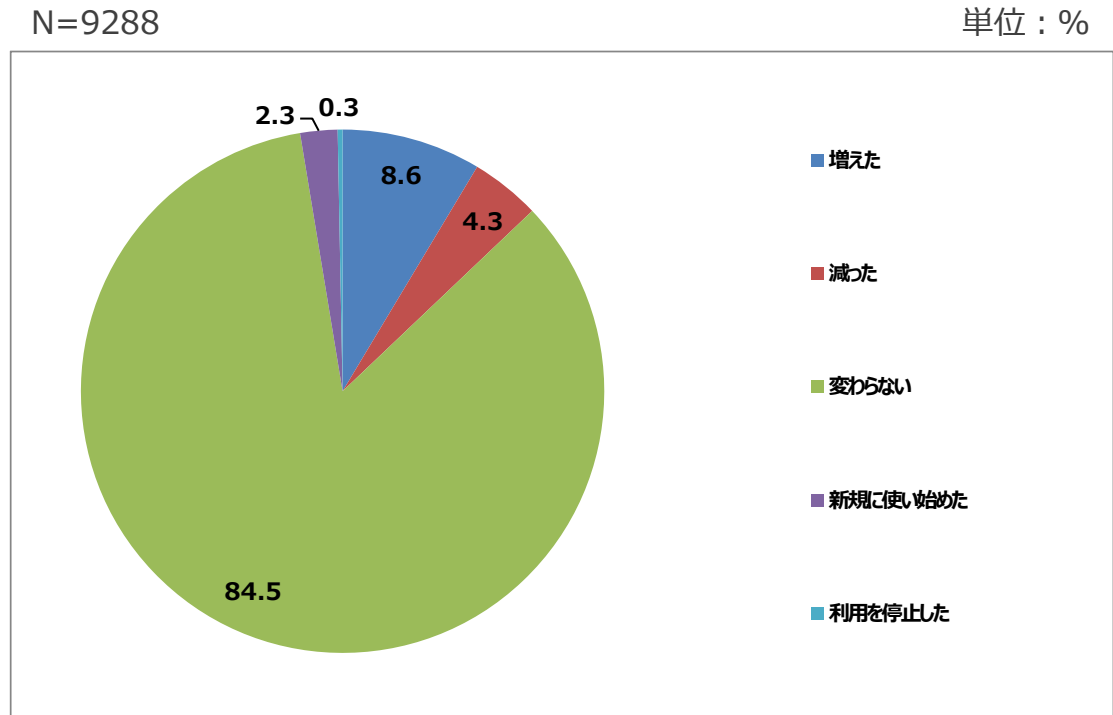
※全体値を降順に並び替え

※単位：%

## ■ コロナ禍以降、 J-STAGE利用頻度の変化

質問9. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行以降、J-STAGEの利用頻度に変化はありましたか。（1つ選択）

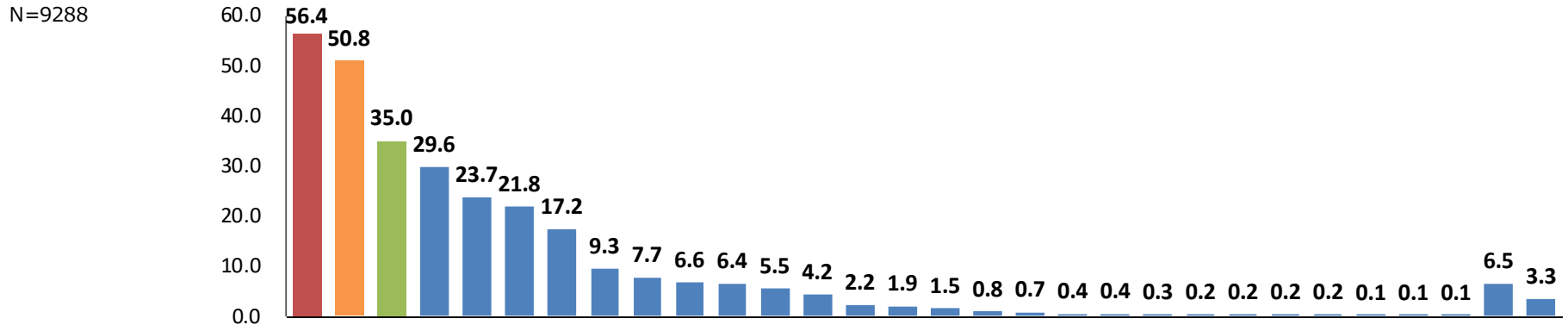
- コロナ禍以降、J-STAGEの利用頻度は、「変わらない」という回答が84.5%と多数を占めた。一方、「増えた」が8.6%、「減った」が4.3%と変化があった割合はおよそ13%弱であった。



# ■ 普段利用しているサービス

質問10. 普段論文を検索・閲覧するのに利用しているサービスを教えてください。(複数選択可)

- 普段利用しているサービスは、「CiNii (国立情報学研究所)」が56.4%と最も高く、次いで「Google 検索 (Google)」の50.8%、「Google Scholar (Google)」の35.0%の順に続いている。



n=30以上で  
■ 項目内で1位  
■ 項目内で2位  
■ 項目内で3位

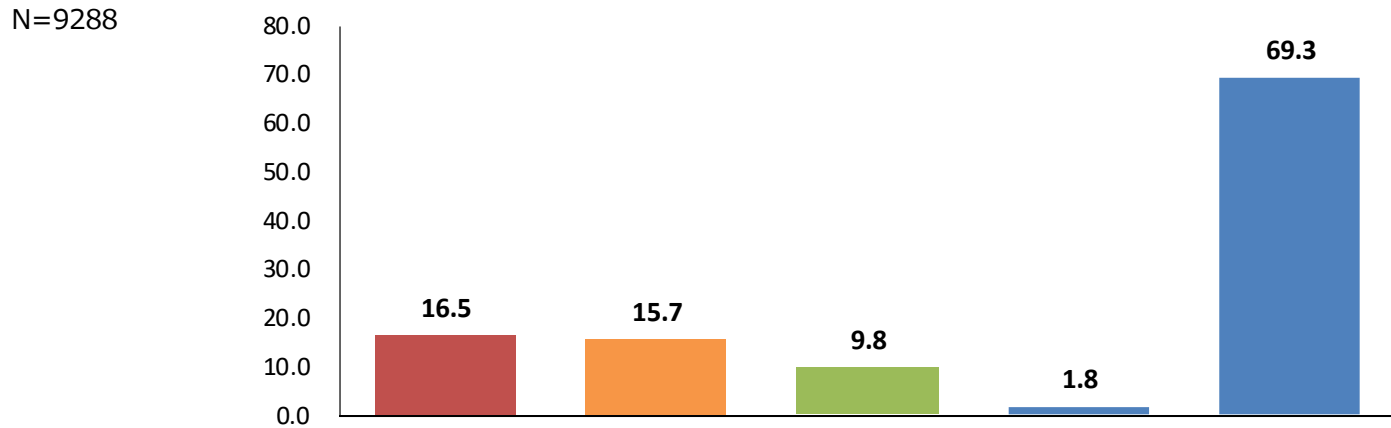
N	学 研 所 ( 所 )	Ci Ni i ( 所 )	Go og le サ ー チ ( 所 )	Go og le Sch ol ar ( 所 )	国 立 国 会 図 書 館 サ ー チ ( 所 )	J - GL OB AL ( 所 )	P u b M e d ( 所 )	医 学 中 心 学 会 誌 行 会 ( 所 )	メ テ オ ン ラ イ ン ( 所 )	M E D L I N E ( 所 )	R e s e a r c h G a t ( 所 )	J D r e a m I I ( 所 )	E l s e v i e r ( 所 )	S c o p u s ( 所 )	W e b o f S c i e n c e ( 所 )	C A S ( 所 )	S c i e n c e D i r e c t ( 所 )	D i s c o v e r y ( 所 )	P M C ( 所 )	東 日 本 大 震 災 ア ー カ イ ブ ( 所 )	E l e c t r a ( 所 )	J o u r n a l s ( 所 )	C o p y r i g h t ( 所 )	O p e n A c c e s s ( 所 )	O L C ( 所 )	韓 国 科 学 技 術 情 報 研 究 院 ( 所 )	S c i e n c e O N ( 所 )	L S U M O N ( 所 )	C l e a r a n c e C e n t e r ( 所 )	R i g h t C l e a r i n g C e n t e r ( 所 )	D O A J ( 所 )	洋 地 域 事 務 局 ( 所 )	W H O 西 太 平 洋 ( 所 )	T R I D ( 所 )	Ex L i b r i s ( 所 )	P r i m o c e n t r a l ( 所 )	特 に な し ( 所 )	そ の 他 ( 所 )		
全体	9288	56.4	50.8	35.0	29.6	23.7	21.8	17.2	9.3	7.7	6.6	6.4	5.5	4.2	2.2	1.9	1.5	0.8	0.7	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	6.5	3.3

※全体値を降順に並び替え  
 ※単位: %

# ■ J-STAGE 以外で利用しているJST情報サービス

質問11. J-STAGE以外で使っているJST情報事業のサービスはありますか。(複数選択可)

- J-STAGE以外で利用しているJST情報サービスは、「J-GLOBAL」が16.5%と最も高く、次いで「researchmap」の15.7%と僅差で続き、「JREC-IN Portal」が9.8%と続いている。一方、「特になし」という回答は69.3%と多数を占めた。



n=30以上で

- 項目内で1位
- 項目内で2位
- 項目内で3位

N	J-GLOBAL	researchmap	JREC-IN Portal	J-STAGE	特になし	
全体	9288	16.5	15.7	9.8	1.8	69.3

※全体値を降順に並び替え

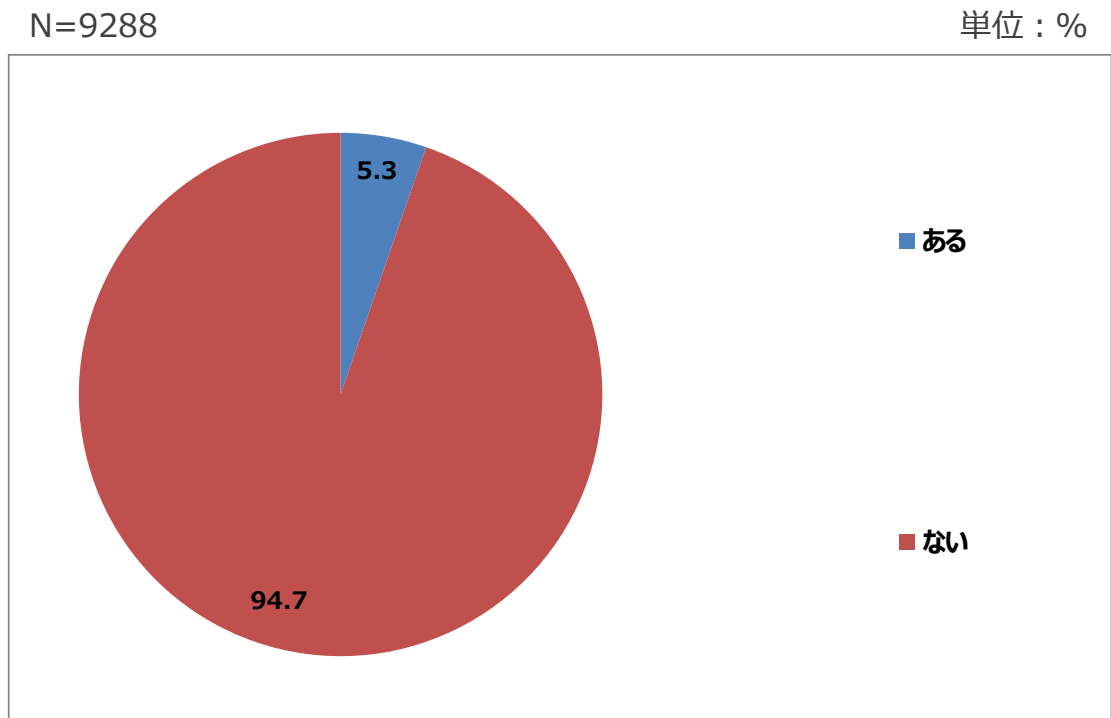
※単位：%



## ■ 論文の二次利用経験有無

質問12. J-STAGE掲載論文の大部分は無料で閲覧できますが、その多くは再配布・改変・商用利用等の二次利用に関する規定が無いまたは明示されていないため、上記のような二次利用をする場合は発行機関等に別途問い合わせる必要があります。論文の二次利用を行ったことがありますか（論文中での引用は二次利用に含めないものとします）。（1つ選択）

- 論文の二次利用の経験の有無は、「ない」という回答が94.7%と大多数を占める結果となった。

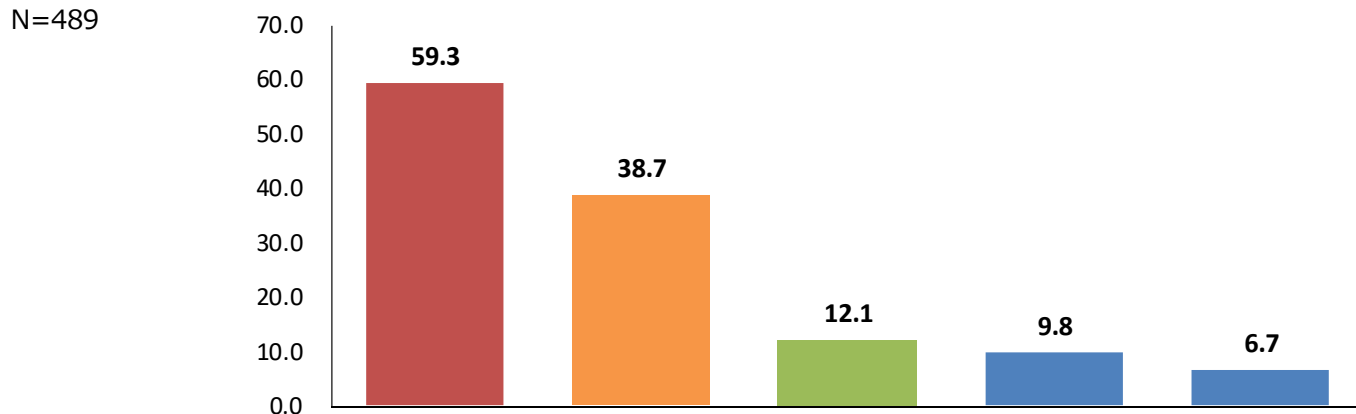


# ■ 論文の二次利用目的

質問13. どのような目的で論文の二次利用を行いましたか。(複数選択可)

- 二次利用経験者の目的は、「他者の著作物の学術利用」が59.3%と最も高く、次いで「著作権移譲した自分自身の著作物の学術利用」の38.7%、「他社の著作物の商用利用」の12.1の順に続いている。

二次利用経験者



n=30以上で  
■ 項目内で1位  
■ 項目内で2位  
■ 項目内で3位

N	学他 術者 利の 用著 作物 の	物自著 の分作 学自権 術身移 利の譲 用著し 作た	商他 用者 利の 用著 作物 の	物自著 の分作 商自権 用身移 利の譲 用著し 作た	そ の 他	
全体	489	59.3	38.7	12.1	9.8	6.7

※全体値を降順に並び替え

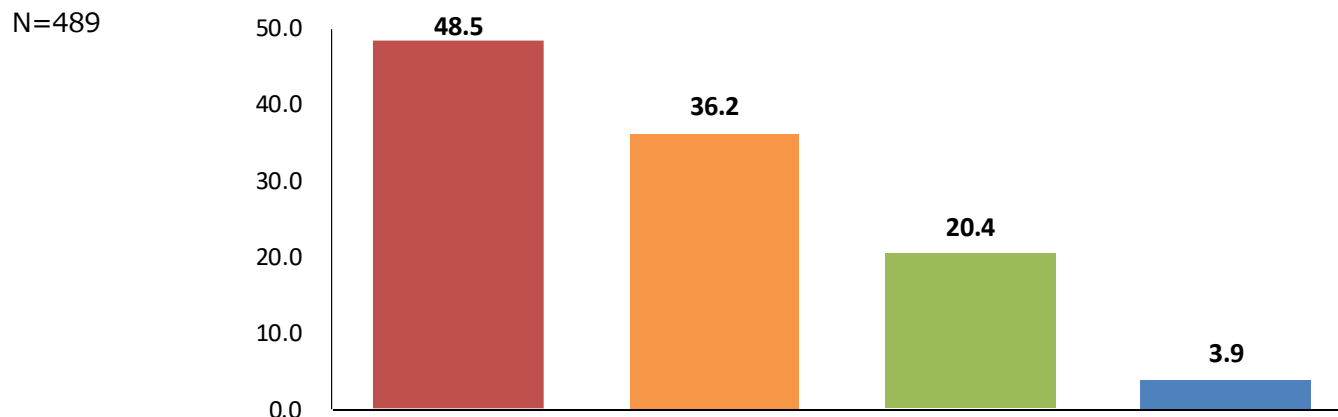
※単位：%

# 論文の二次利用許諾取得のための手続き内容

質問14. 二次利用の許諾を得るためにどのような手続きを行いましたか。(複数選択可)

- 二次利用許諾取得のための手続き内容は、「著作権者への利用許諾申請」が48.5%と最も高く、次いで「特に手続きを行わなかった」の36.2%、「CCライセンス等の二次利用条件に従って利用」の20.4%の順に続いている。

二次利用経験者



N	著作権者への利用許諾申請	特に手続きを行わなかった	CCライセンス等の二次利用条件に従って利用	その他	
全体	489	48.5	36.2	20.4	3.9

n=30以上で  
■ 項目内で1位  
■ 項目内で2位  
■ 項目内で3位

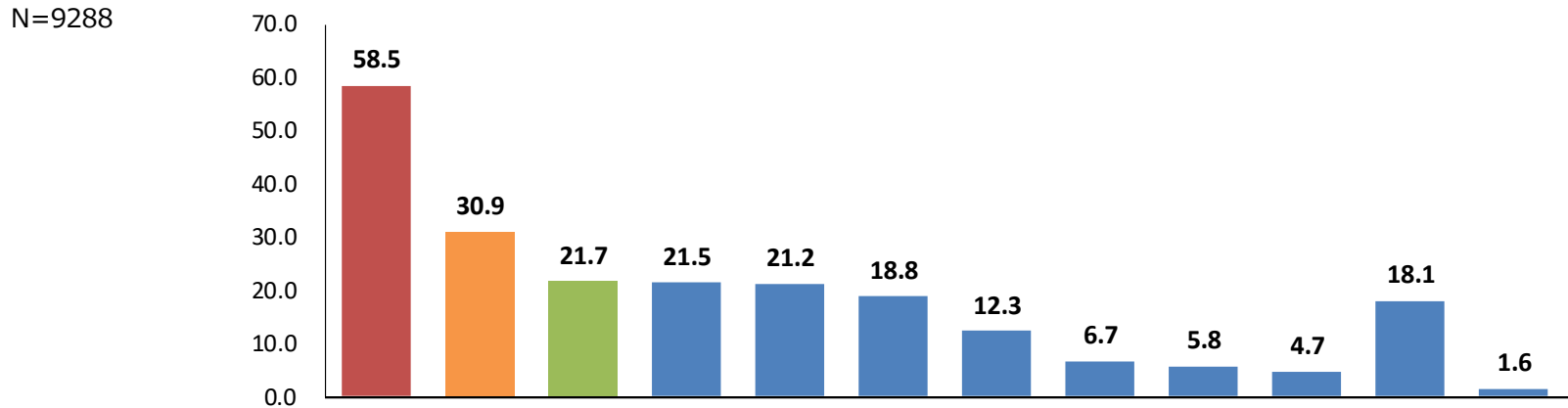
※全体値を降順に並び替え

※単位：%

# ■ 役立ちそうな新サービス

質問15. J-STAGEでは新たな機能・サービスの提供を検討しています。役に立ちそうなものをお選びください。（複数選択可）

- 役に立ちそうと思われるサービスは、「高度な検索機能の追加（検索条件式等）」が58.5%と最も高く、次いで「リコメンド機能」の30.9%、「類似画像検索機能」の21.7%の順が続いている。



n=30以上で  
■ 項目内で1位  
■ 項目内で2位  
■ 項目内で3位

N	高度な検索機能の追加（検索条件式等）	リコメンド機能	類似画像検索機能	分析機能（引用情報の可視化等）	和文誌における英語および中国語の機械翻訳機能	文献情報管理ソフトとの連携拡大（EndNote等）	少額決済機能（電子マネー等）	ORCIDとの連携	記事へのコメント投稿機能	s（Alert metrics等）	新しい評価指標の分析	その他	
全体	9288	58.5	30.9	21.7	21.5	21.2	18.8	12.3	6.7	5.8	4.7	18.1	1.6

※全体値を降順に並び替え

※単位：%

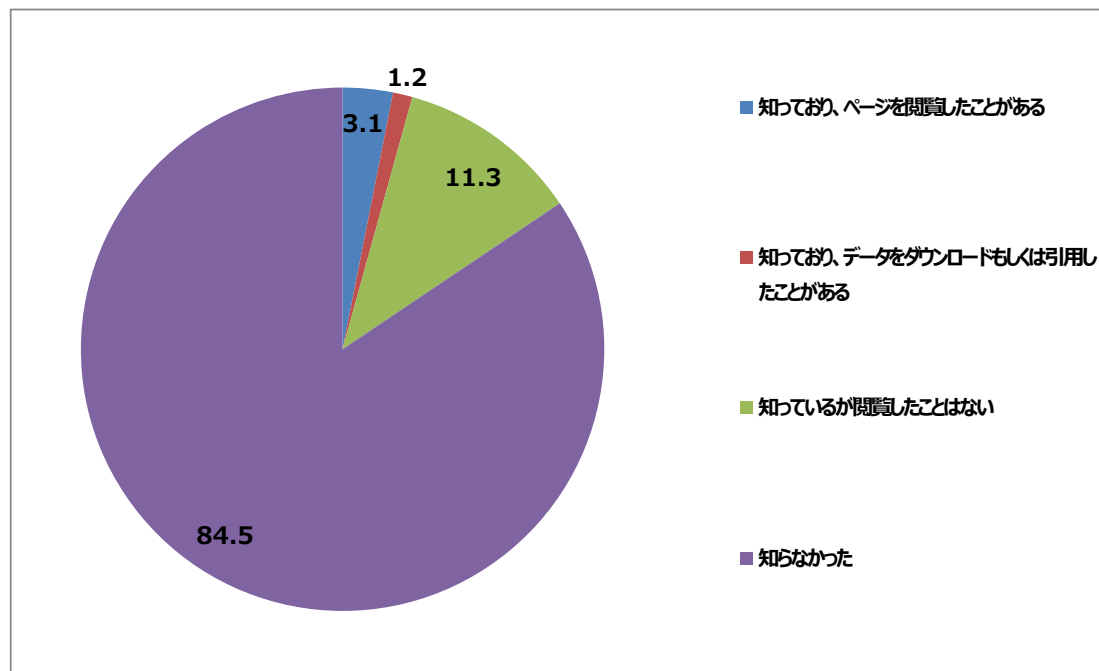
# ■ データリポジトリ開設の認知利用実態

質問16. J-STAGEでは、論文記事とその根拠となる研究データをリンクさせて公開するデータリポジトリ「J-STAGE Data」を2020年3月に開設しました。J-STAGE Dataを知っていますか。（1つ選択）

- データリポジトリ開設の認知者は、15.6%であった。そのうち「知っており、閲覧したことがある」という人は3.1%、「知っており、データをダウンロードもしくは引用したことがある」という人は1.2%と僅かとなっている。

N=9288

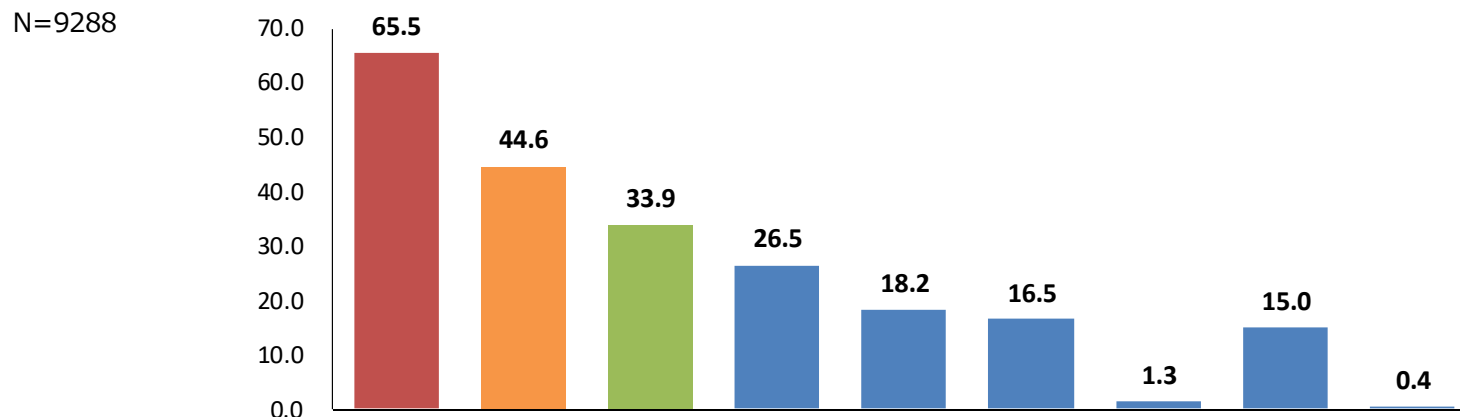
単位：%



# ■ データリポジトリ開設後の利用用途・意向

質問17. 今後、J-STAGE Dataによって従来より多くの実験等のデータにアクセスできるようになった際、それらをどのように利用できる/使いたいと考えますか。  
(複数選択可)

- データリポジトリ開設後の利用用途については、「論文のさらなる内容理解」が65.5%と最も高く、次いで「信憑性・再現性・エビデンスレベルの評価」の44.6%、「技術情報の参考」の33.9%の順に続いている。



n=30以上で

- 項目内で1位
- 項目内で2位
- 項目内で3位

	N	論文のさらなる内容理解	信憑性・再現性・エビデンスレベルの評価	技術情報の参考	自論文への引用	自身の追試を行う	データ自体の二次利用	データを用いる必要はない	わからない	その他
全体	9288	65.5	44.6	33.9	26.5	18.2	16.5	1.3	15.0	0.4

※全体値を降順に並び替え

※単位：%

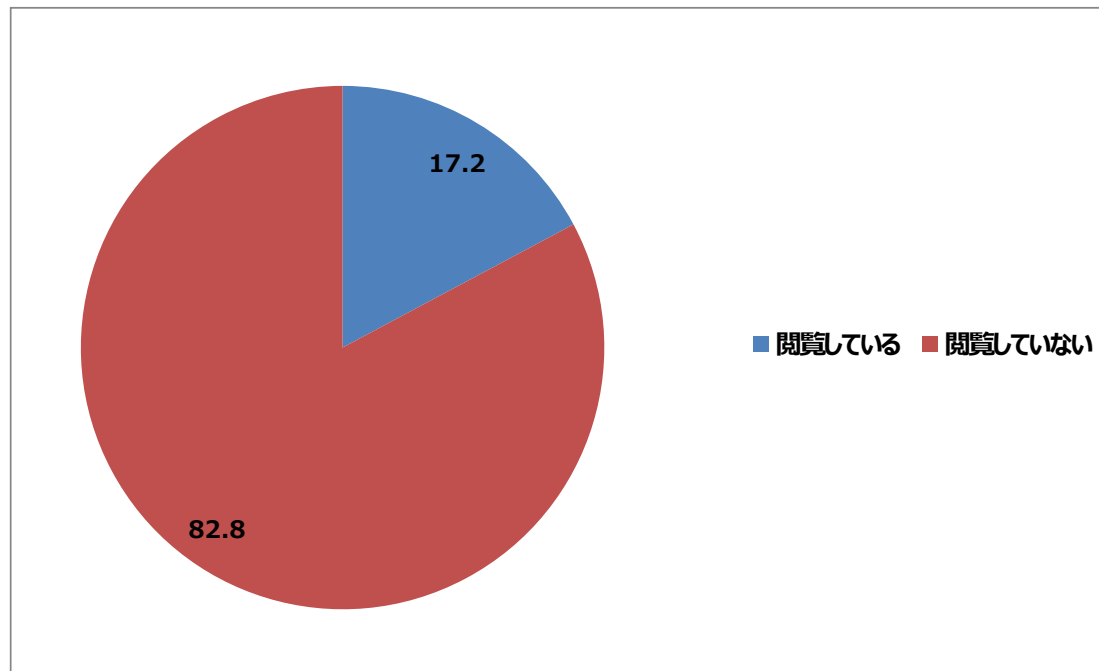
## ■プレプリントの閲覧状況

質問18. プレプリント\*を閲覧していますか。(1つ選択)

- プレプリントの閲覧者は、17.2%であった。

N=9288

単位：%



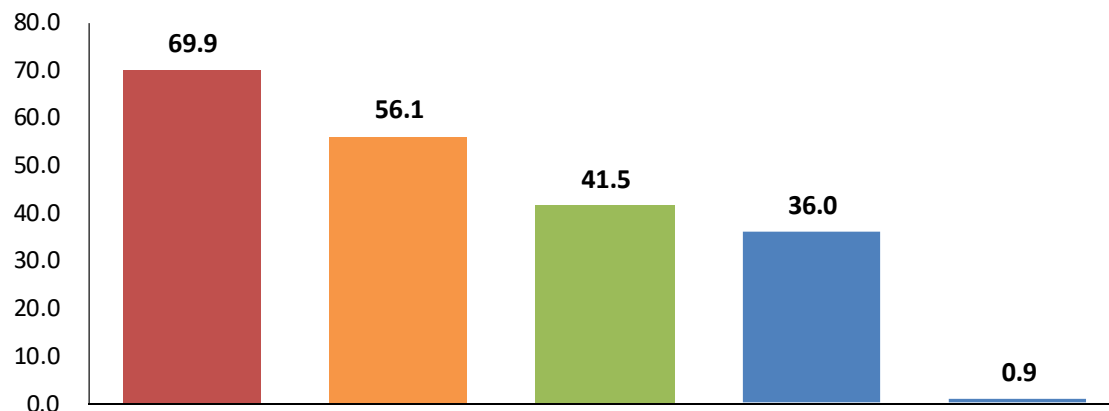
# ■プレプリントの閲覧理由

質問19. プレプリントを閲覧している理由について当てはまるものをお選びください。（複数選択可）

- プレプリントの閲覧理由は「最新の研究動向を知るため」が69.9%と最も高く、次いで「無料で読めるため」の56.1%、「検索でヒットした論文がプレプリントだった」の41.5%の順に続いている。

プレプリント閲覧者

N=1596



n=30以上で

- 項目内で1位
- 項目内で2位
- 項目内で3位

	N	最新の研究動向を知るため	無料で読めるため	検索でヒットした論文がプレプリントだった	自身が行った研究の論文が先行発表されている	その他
全体	1596	69.9	56.1	41.5	36.0	0.9

※全体値を降順に並び替え

※単位：%



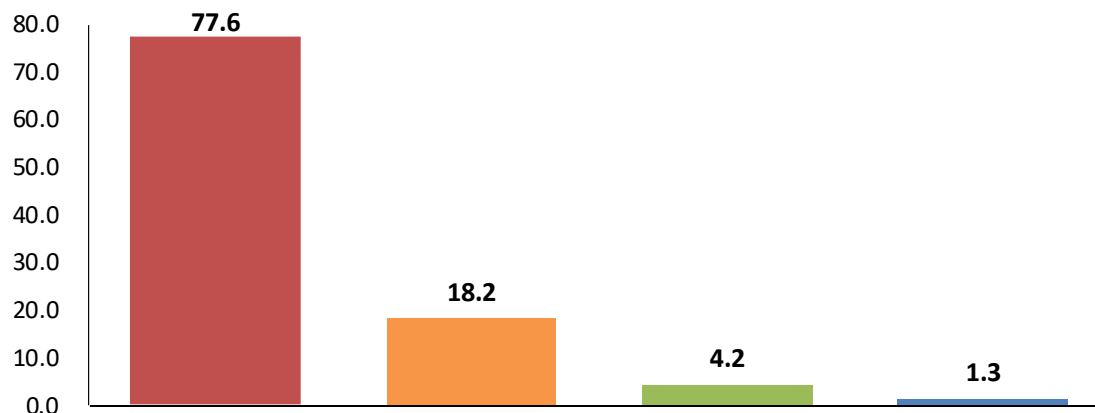
# ■プレプリントの非閲覧理由

質問20. プレプリントを閲覧していない理由について当てはまるものをお選びください。（複数選択可）

- プレプリントの非閲覧理由は「プレプリントを知らなかった」が77.6%と大多数を占めた。次いで「プレプリントにまで目を通す時間が無い」の18.2%、「信憑性の観点からプレプリントの論文を読む必要は無いと考えている」の4.2%の順が続いている。

プレプリント非閲覧者

N=7692



n=30以上で

- 項目内で1位
- 項目内で2位
- 項目内で3位

	N	知プ らレ なプ かり ン ト を	間まプ がでレ 無目プ いをリ 通ン すト 時に	て要のら信 いは論プ憑 る無文レ性 いをプの と読リ観 考むン点 え必トか	その他
全体	7692	77.6	18.2	4.2	1.3

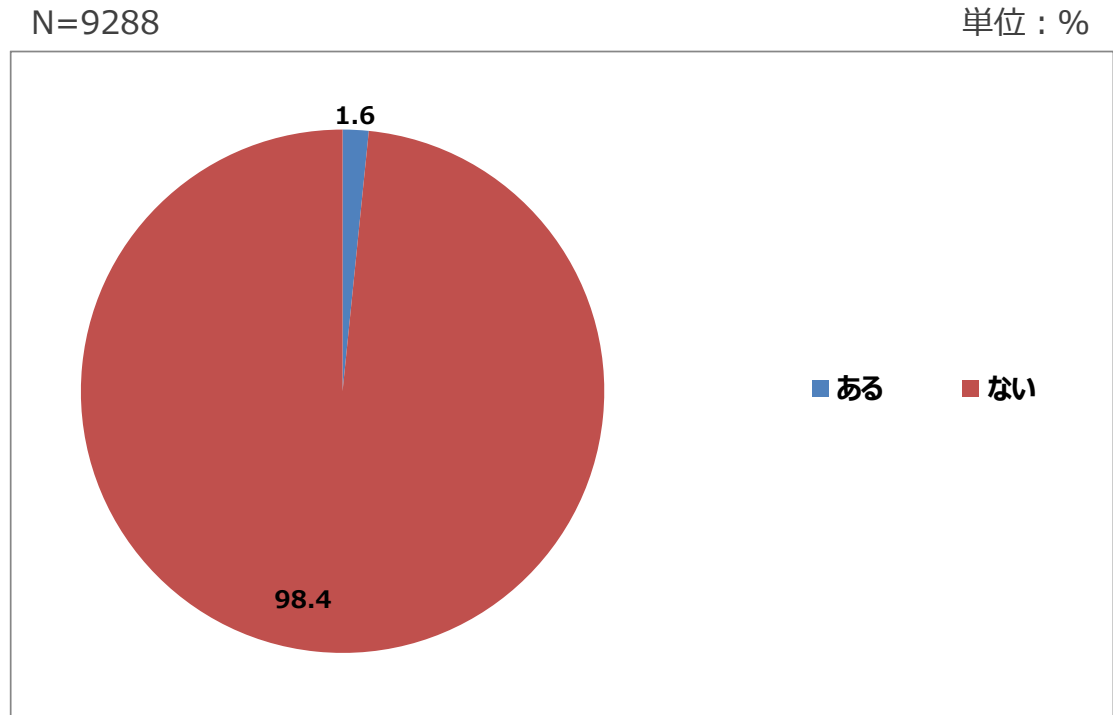
※全体値を降順に並び替え

※単位：%

## ■プレプリントサーバへの論文投稿経験

質問21. プレプリントサーバへ論文を投稿したことがありますか。(1つ選択)

- プレプリントサーバへの論文投稿があるという人は、僅か1.6%となっている。



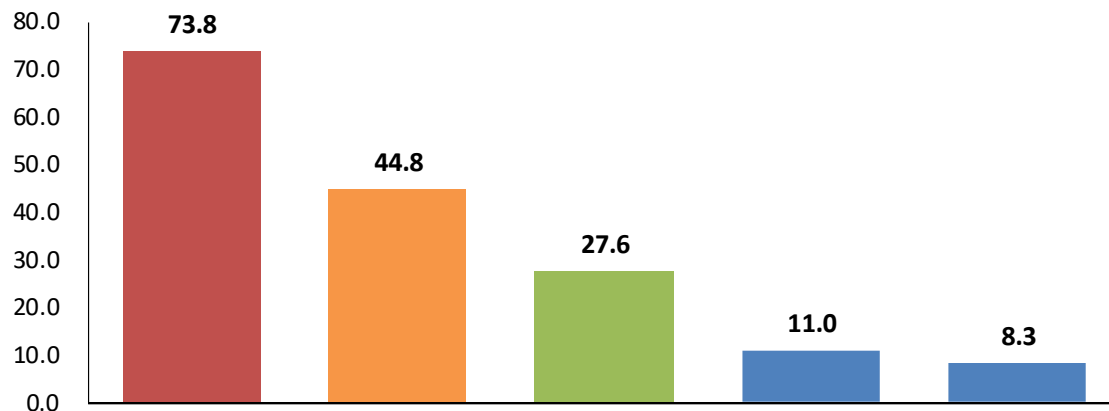
# ■プレプリントサーバへの論文投稿理由

質問22. プレプリントサーバへ論文を投稿した理由について当てはまるものをお選びください。（複数選択可）

- プレプリントサーバへの論文投稿理由は「研究成果を迅速に公表するため」が73.8%と最も高く、次いで「研究成果を無料で公表するため」の44.8%、「自身の研究分野でプレプリントサーバへの投稿が活発なため」の27.6%の順に続いている。

プレプリントサーバ投稿者

N=145



n=30以上で

- 項目内で1位
- 項目内で2位
- 項目内で3位

	N	に 研 公 究 表 成 す 果 る を た 迅 め 速	で 研 公 究 表 成 す 果 る を た 無 め 料	が サ で 自 活   プ 身 発 バ レ の な ヘ プ 研 た の リ 究 め 投 ン 分 稿 ト 野	た 針 所 た ・ 属 め 要 機 請 関 を の 受 方 け	そ の 他
全体	145	73.8	44.8	27.6	11.0	8.3

※全体値を降順に並び替え

※単位：%

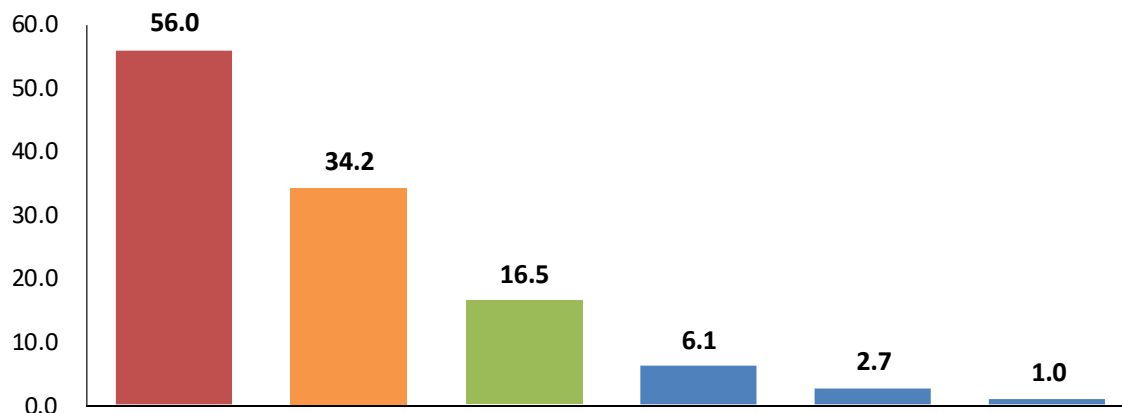
# ■プレプリントサーバへの論文非投稿理由

質問23. プレプリントサーバへ論文を投稿しない理由について当てはまるものをお選びください。(複数選択可)

- プレプリントサーバへの論文非投稿理由は「論文を書いていないため」が56.0%と最も高く、次いで「プレプリントサーバを知らなかったため」の34.2%、「プレプリントサーバへ投稿する必要性を感じないため」の16.5%の順に続いている。

プレプリントサーバ非投稿者

N=9143



n=30以上で

- 項目内で1位
- 項目内で2位
- 項目内で3位

	N	論文を書いていないため	プレプリントサーバを知らなかったため	プレプリントサーバへ投稿する必要性を感じないため	時間がない	すでに論文が公開されている	その他
全体	9143	56.0	34.2	16.5	6.1	2.7	1.0

※全体値を降順に並び替え

※単位：%

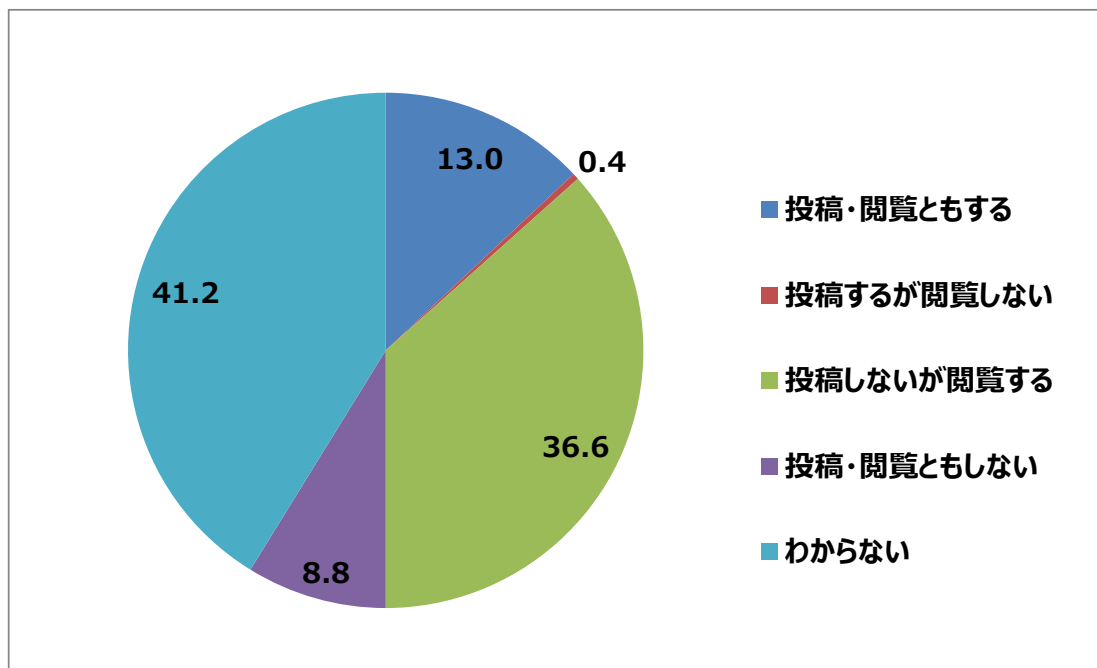
## ■ 日本国内の機関でプレプリントサーバが設置された場合の利用意向

質問24. 日本国内の機関によるプレプリントサーバが設置された場合、投稿・閲覧をしますか。（1つ選択）

- 日本国内の機関でプレプリントサーバが設置された場合の利用意向は、「投稿しないが閲覧する」が36.6%と最も高く、次いで「投稿・閲覧ともする」の13.0%と続いている。一方で「わからない」という回答は41.2%となっている。

N=9288

単位：%



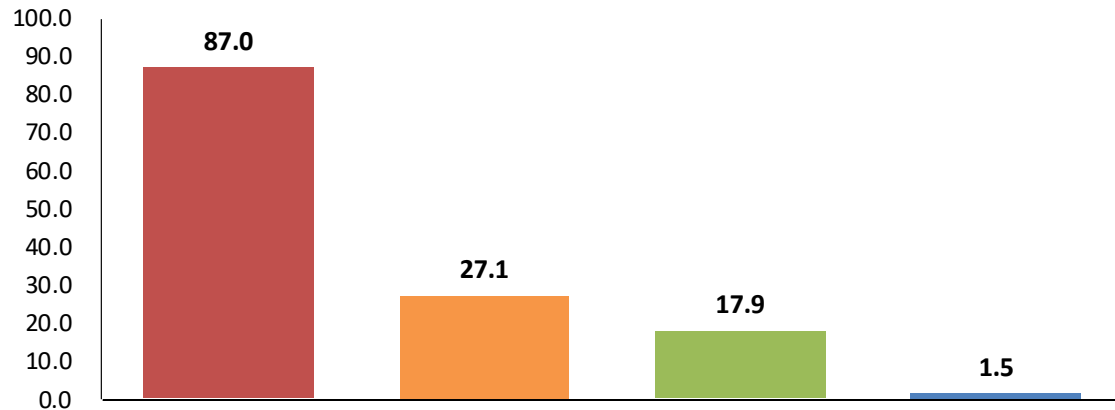
# ■ 日本国内でのプレプリントサーバ利用目的

質問25. どのような目的で日本国内のプレプリントサーバを利用することを考えていますか。(複数選択可)

- 日本国内でのプレプリントサーバ利用目的は「日本語の論文を読むため」が87.0%と最も高く、次いで「使い勝手の良さを期待するため」の27.1%、「国内で共同研究者を探すため」の17.9%の順に続いている。

プレプリントサーバ利用意向者

N=4651



n=30以上で

- 項目内で1位
- 項目内で2位
- 項目内で3位

	N	日本語の論文を読むため	使い勝手の良さを期待するため	国内で共同研究者を探すため	その他
全体	4651	87.0	27.1	17.9	1.5

※全体値を降順に並び替え

※単位：%

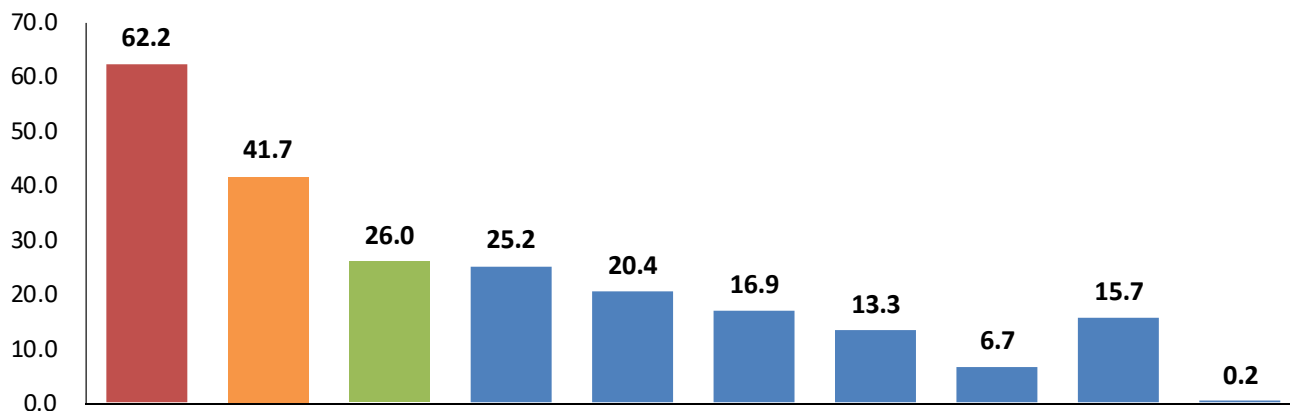
# ■ 日本国内でのプレプリントサーバに求める機能

質問26. 日本国内の機関によるプレプリントサーバが設置された場合、どのような機能があると使いたいと思いますか。（複数選択可）

- 日本国内でのプレプリントサーバに求める機能は「閲覧・検索機能」が62.2%と最も高く、次いで「査読済み論文との紐づけ」の41.7%、「ジャーナル投稿システムとの連動」の26.0%の順に続いている。

プレプリントサーバ利用意向者

N=4651



n=30以上で

- 項目内で1位
- 項目内で2位
- 項目内で3位

	N	閲覧・検索機能	査読済み論文との紐づけ	ジャーナル投稿システムとの連動	機械翻訳機能	DOIの付与	プレプリント閲覧者からのフィードバック機能	剽窃チェック機能	SNSとの連動	特になし・わからない	その他
全体	4651	62.2	41.7	26.0	25.2	20.4	16.9	13.3	6.7	15.7	0.2

※全体値を降順に並び替え

※単位：%

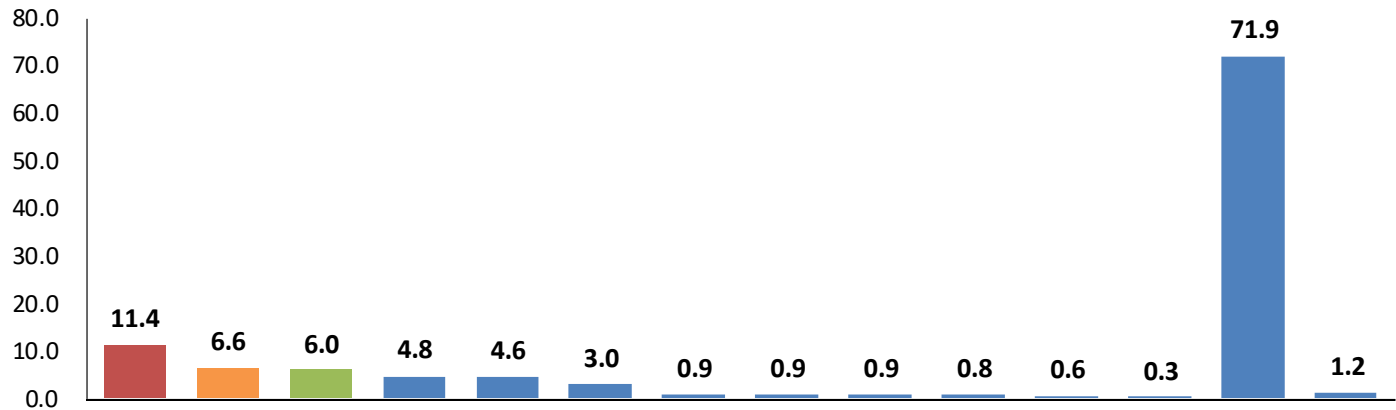
# ■よく利用しているプレプリントサーバ

質問27. 普段よく利用するプレプリントサーバは何ですか。(複数選択可)

- よく利用しているプレプリントサーバは「ArXiv」が11.4%と最も高く、次いで「medRxiv」の6.6%、「bioRxiv」の6.0%の順に続いている。一方、「特になし・わからない」が71.9%と多数を占めている。

プレプリントサーバ利用意向者

N=1617



n=30以上で

- 項目内で1位
- 項目内で2位
- 項目内で3位

	N	ArXiv	medRxiv	bioRxiv	TechRxiv	ChemRxiv	Lantwerp	Preprints	SciPre	ArXiv	F1000	CO	RINAV	特になし・わからない	その他
全体	1617	11.4	6.6	6.0	4.8	4.6	3.0	0.9	0.9	0.9	0.8	0.6	0.3	71.9	1.2

※全体値を降順に並び替え

※単位：%